

触れ合い活動の場の調査結果について

4.15 触れ合い活動の場

4.15.1 調査

1 調査項目及び調査方法

調査項目及び調査方法は表4-15-1に示すとおりである。

表 4-15-1 調査項目及び調査方法

調査項目	調査頻度	調査方法
触れ合い活動の場の利用状況	3回/年	現地踏査 利用状況調査（ルートセンサス、定点観測） 聞き取り調査（サイクリングロードの利用状況を確認）

2 調査地域及び調査地点

調査地点の選定理由等は表4-15-2に示すとおりである。また、調査地点図は図4-15-1に示すとおりである。

表 4-15-2 調査地点の選定理由等

調査項目	地点	選定理由
触れ合い活動の場	対象事業実施区域北側の千曲川河川敷	千曲川河川敷は、バードウォッチングや釣りをはじめ自然環境との触れ合い活動の場であるため選定した。
	千曲川サイクリングロード	対象地域周辺の千曲川流域のサイクリングロードであり、多くの利用者が想定されることから選定した。

3 調査期間

調査期間は表4-15-3に示すとおりである。

表 4-15-3 調査期間

調査時期	調査期間
秋季	平成24年 9月27日（木）7時～18時：天候 晴れ
	平成24年 11月 4日（日）7時～18時：天候 晴れ 平日と休日の利用状況の違いを確認するため平日調査を実施した。
春季	平成25年 4月28日（日）7時～18時：天候 晴れ

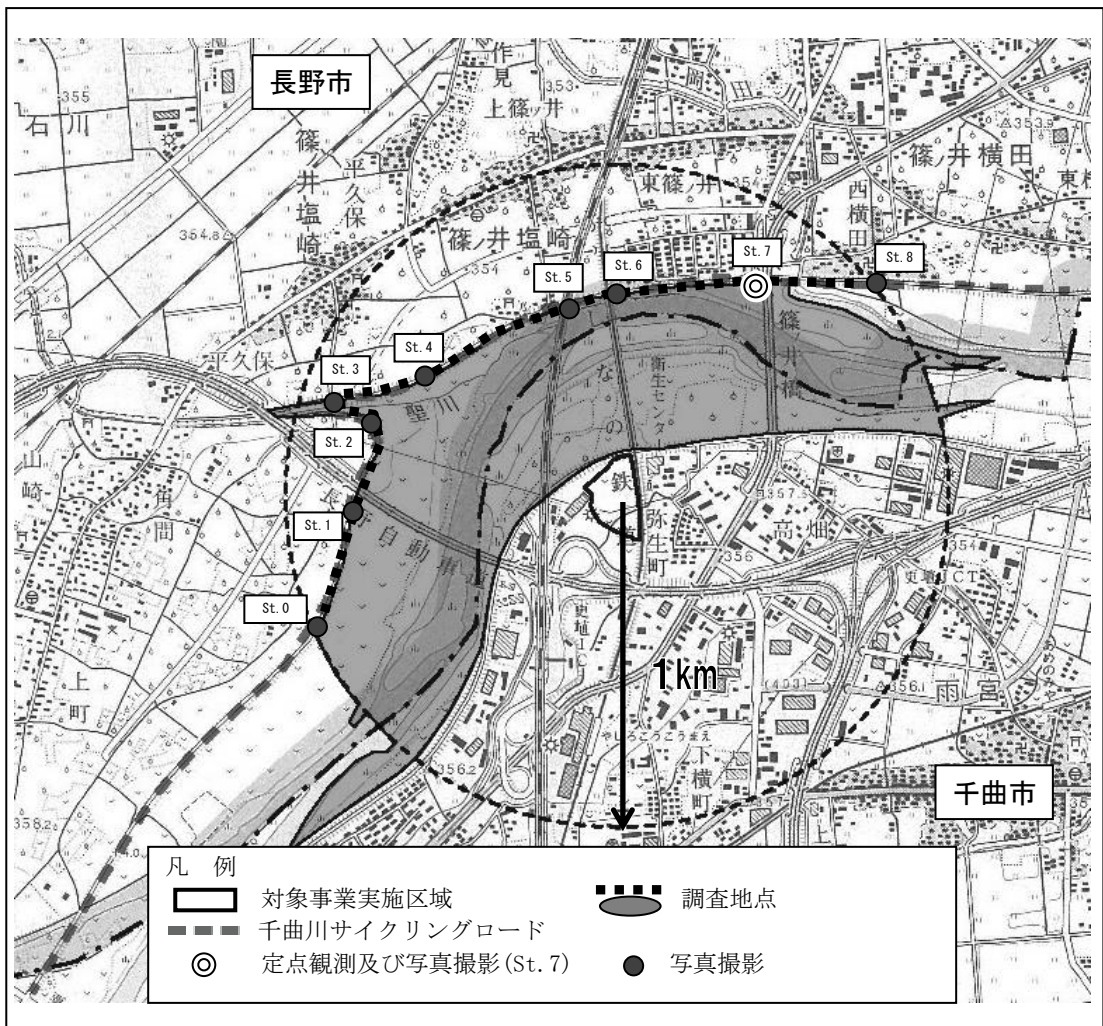


図 4-15-1 触れ合い活動の場の調査地点図

4 調査結果

1) 現地踏査結果

千曲川河川敷の状況は図4-15-2に示すとおりである。

つけば小屋は、千曲市を中心として東は坂城町と上田の東側の一部、北は長野市松代あたりまでのごく限られた地域だけに存在し、当地を代表する川魚漁、食文化、そして風土のひとつである。つけばとは『たねつけば(産卵場)』がその名の由来であり、つけば漁は、魚が産卵したがる「つけば」を人工的に作り、産卵のためそこに集まったウグイを投網などで捕らえるものである。「つけば小屋」は4月から10月まで営業されており、千曲川で取れたばかりのウグイを調理して提供している。

河川敷地内には平成24年9月27日の調査時につけ場漁の小屋が存在していたが、11月4日の現地踏査時には撤去され、平成25年4月28日の調査で再び設置されていることを確認した。

サイクリングロードの状況は図4-15-3(1), (2)に示すとおりである。

また、現地踏査時にサイクリングロードを散歩している人に聞き取り調査を実施し、平日より休日にサイクリングの利用者が多いことを確認した。